



投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所

我が家の春一番
◎谷川敏子さん ◎平成27年3月
◎大和町下徳良



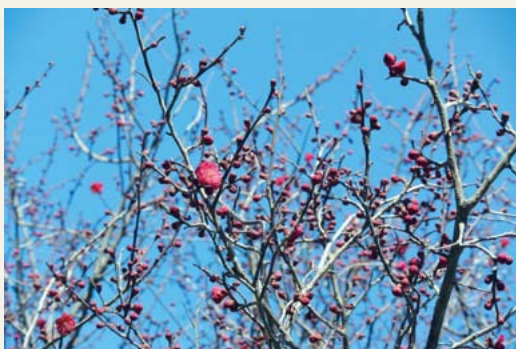
神門市「ダルマ行列」出発前

◎大森和明さん ◎平成27年2月
◎三原小学校(館町二丁目)



離陸の風景

◎阿川律さん ◎平成27年2月
◎広島空港(本郷町善入寺)



フライング

◎藤井理佐さん ◎平成27年2月
◎中之町一丁目

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 7日(火)(必着)
応募資格 市内に在住か在勤・在学の学生
募集枚数 1人1枚
選考 総務広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 ㊚soumukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲桜と芝桜が美しさを競い合う本谷地区

今月上旬から満開となる本谷の芝桜。地域の力を示すように、力強く咲いてくれるはずで

再び強まった地域の絆は、さまざまな方面に良い効果をもたらしています。「達成感が次の挑戦につながっている」と高東さん。高齢者の見守り活動や農業集落法人の設立もそのひとつです。

芝桜の植栽が始まったのは11年前。まとめ役の高東幸輝さんが「限界集落とまで呼ばれた」と言うほど、過疎化と高齢化が進んだ地域の住民にとって、急斜面の草刈作業は危険な重労働。何とか負担を軽くした

芝桜は地域に意外な効果ももたらしました。薄れつつあった住民同士のつながりを再び強く結んだのです。植栽には苗作りやシート貼りなど、多くの共同作業が必要です。「作業後、互いに労をねぎらい、食事をし、話をする中で交流が戻った」と高東さんは話します。

という思いから、雑草と病害虫の発生を抑え、見た目にも美しい芝桜の植え付けに取り組みました。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。

芝桜で再び強まった地域の絆



本谷集落協定 代表者 高東幸輝さん